

◆◆◆ 小 論 文 ◆◆◆

総合・国内共通問題

あなたが現在までの添乗経験（国内、海外問わず）を通して、添乗の仕事に最も喜びと誇りを感じた事例を挙げ、同じような感動を再度味わうために日頃どのような努力をしているかを、具体的に800字程度にまとめて述べなさい。

出題の趣旨

- ①添乗員能力資格認定試験1級認定者としてふさわしい「重要と思われる添乗員の使命」とは何かを問う。
- ②添乗員の使命を達成するために、添乗経験を通して、仕事に最も喜びと誇りに感じたこと、そしてその感動を味わうために日頃行っている努力について問う。
- ③設問の意味をしっかりと理解、把握し、要点を的確に捉えているかを問う。

解 説

今年度のテーマは、添乗経験を通して、最も喜びと誇りを感じた事例を挙げ、その感動を味わうために、どのような努力を日頃行っているかを問う設問でした。

設問に沿った内容を丁寧に800字程度にまとめ、記入している回答がほとんどでした。しかし、問題に書かれているように、「添乗の仕事に最も喜びと誇りを感じた事例を挙げて・・・」との設問に対し、事例の中で、何に喜びと誇りを感じ、また、それはどのような過程で喜びや誇りにつながったのかが具体的に記していない方も数名見受けられました。

添乗の仕事に最も喜びと誇りを感じた事例で最も多かった回答は、「旅行終了の際、お客様から感謝、ねぎらいの言葉をいただく時」という回答です。旅行が無事終わり、添乗の仕事を終えた時、旅行に参加したお客様が心から喜んで頂く姿を拝見できることが、添乗の仕事のやりがいでもあり、添乗を長く続けられる大きな要因であると考えられます。

また、仕事の喜びと誇りを味わうために努力していることで最も多かった回答は、「初心を忘れずに添乗業務に励むこと」という回答です。お客様が安心して楽しく旅行ができるよう、添乗を始めた時の意気込みや一生懸命さ、そして経験や知識に頼りすぎず、謙虚さを持って添乗業務に励もうとする姿勢は、お客様に伝わり、とても大切なことであると思われます。

今回の小論文の設問は、決まった正解がある設問ではありません。今まで添乗の仕事を通じて遭遇した喜びや誇りを感じた経験を大切にして、常に新鮮な気持ちでお客様と接し、再び感動を味わえるよう前向きに添乗業務に励んで頂きたいという出題者の意図として、出題にしたものです。